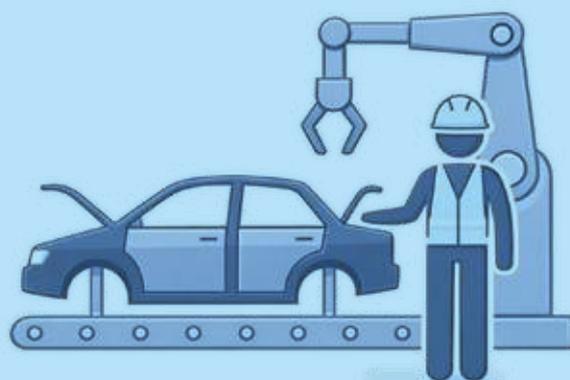


令和7（2025）年度

# インターンシップ等 実施報告書

Implementation Report



# 目 次

はじめに .....	1
I. 事業の概要 .....	2
1) 実施方針 .....	2
2) 経 過 .....	2
II. 実施内容 .....	3
1) 学生啓発説明会(ガイダンス) .....	3
2) インターンシップマッチングフェア.....	3
3) 学生向け事前研修会等(動画配信) .....	5
4) 新インターンシップ活用セミナー .....	6
III. インターンシップ等受入学生数 .....	7
IV. 資料編 .....	8
1) 企業・団体アンケート結果 .....	8
2) 学生アンケート結果 .....	12
3) インターンシップ実態調査アンケート回答企業・団体一覧 .....	16

※事業所名、業種、所在地

## はじめに

岡山県中小企業団体中央会では、令和7年度岡山県人材還流・定着プロジェクト事業（岡山県委託事業）の一環として、県内企業と学生との接点創出および相互理解の促進を目的に、インターンシップマッチング強化事業を推進してまいりました。本報告書は、令和7年度における岡山県内のインターンシップ等の実施状況および事業成果を取りまとめたものです。

近年、インターンシップを取り巻く環境は大きく変化しています。就業体験は、単なる職場見学や短期体験の枠を超え、採用活動と実質的に連動する重要なプロセスとして位置づけられるようになりました。特に、一定期間の就業体験を伴い採用活動への活用が可能とされるプログラムの普及により、企業と学生が早期から接点を持ち、相互理解を深める動きが加速しています。また、オンラインやハイブリッド形式の導入、複数日程の設定など、参加しやすさを高める工夫も広がっています。

一方で、少子化の進行による学生数の減少や人材獲得競争の激化は、地方企業にとって大きな課題となっています。こうした状況下においては、企業が自らの強みや地域で働く意義を積極的に発信し、学生に選ばれる存在となることが不可欠です。インターンシップは、そのための有効な機会であり、将来的な定着や人材還流につながる重要な基盤といえます。

本会では、大学コンソーシアム岡山や県外の大学、経済団体等と連携し、県内企業の受入体制整備や情報発信の強化を図るとともに、学生に対する参加促進に取り組んでまいりました。その結果、多くの企業・団体様にご協力をいただき、学生が地域企業の業務や社会的役割を実体験する貴重な機会を創出することができました。

本報告書が、県内企業における今後のインターンシップ等の充実や採用活動の高度化、さらには地域全体で人材を育み循環させる「オール岡山」の取組の一層の推進に資することを期待しております。

最後に、本事業の趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

岡山県中小企業団体中央会

# I. 事業の概要

※この冊子での「インターンシップ等」は、仕事体験やオープンカンパニー等と称して実施したプログラムを含めています。

## 1) 実施方針

- 企業情報検索サイト「きら☆おか(きらり輝く☆おかやま企業情報丸わかり)」により、インターンシップ等情報と募集情報を広報する。
- 受け入れ企業・団体の開拓やインターンシップマッチングイベント等を開催し、大学コンソーシアム岡山は加盟大学への啓発、連絡等を行う。



## 2) 経過

### 4月～6月

- ▶学生対象に啓発説明会(インターンシップ・ガイダンス)開催
  - ・就実大学、就実短期大学(4月7日)
  - ・ノートルダム清心女子大学(4月8日)
  - ・岡山商科大学専門学校(4月11日)
  - ・中国学園大学・短期大学(4月23日、5月30日、6月11日)
  - ・くらしき作陽大学(5月7日)
- ▶おかやまインターンシップ&オープンカンパニーマッチングフェア 2025 開催(5月24日:対面式)
- ▶企業・団体に受け入れを依頼(受け入れの企業・団体の開拓)
- ▶学生が「きら☆おか」等を利用してインターンシップ情報の検索開始
- ▶学生が企業・団体に応募

### 7月

- ▶学内インターンシップ説明会開催
  - ・岡山商科大学(7月9日、16日)
  - ・ノートルダム清心女子大学(7月16日)
  - ・山陽学園大学(7月23日)
- ▶企業・団体がエントリーシート、面接などで学生を選考
- ▶インターンシップ参加前の学生に向けてお役立ち動画を配信(7月1日～31日)

### 8月～9月

- ▶学生が企業・団体で実習

### 10月

- ▶協力企業・団体にお礼と夏期実習無事終了を報告

### 11月～12月

- ▶学内インターンシップ説明会開催
  - ・吉備国際大学(11月10日)
  - ・ノートルダム清心女子大学(11月26日)
  - ・中国学園大学、中国短期大学(12月3日)

### 1月

- ▶県内企業インターンシップ企画力向上事業(新インターンシップ活用セミナー)開催(29日)

### 2月～3月

- ▶本事業の報告書作成

## Ⅱ. 実施内容

### 1) 学生啓発説明会(ガイダンス)



本年度4月から6月にかけて、大学コンソーシアム岡山加盟の各大学等において、学生にインターンシップ等への参加を促すための説明会を実施しました。

昨今、インターンシップは就職活動に大きな影響を及ぼすことから、各校ともキャリア教育の重要な柱の一つとして位置づけており、岡山県中小企業団体中央会においても計5校の説明を担当しました。

今年度の全体出席者数は748人にのぼり、昨年度の2倍近い動員を記録しました。説明会の主な内容としては、インターンシップ等の4類型に関する定義や参加のメリット、就職活動の全体スケジュールの解説に加え、岡山県内の受け入れ企業・団体の紹介を行いました。また、実践的な支援として、情報サイト「きら☆おか」の活用方法や具体的な応募手順についても周知を図りました。

学生のインターンシップ等に対する関心・意欲は総じて高く、参加者のほぼ全員が「条件等が合えば何らかの形で参加したい」との意向を示していました。また、学生がインターンシップに期待する要素としては、「就職活動の準備」や「自己の適性の把握」に加え、「志望職種における実務経験」を挙げる者が多く、自身のキャリア形成を具体化させるための貴重な機会として捉えられている印象を受けました。(写真は説明会の様子)



<表1> 学校別インターンシップ・ガイダンス参加者数

日程	学校	参加学生数
2025/4/7	就実大学・就実短期大学	283名
2025/4/8	ノートルダム清心女子大学	260名
2025/4/11	岡山商科大学専門学校	4名
2025/4/23、5/30、6/11(3回)	中国学園大学・短期大学	105名
2025/5/7	くらしき作陽大学	96名
	合計	748名

### 2) インターンシップマッチングフェア

#### (おかやまインターンシップ&オープン・カンパニーマッチングフェア 2025)

学生にとって、インターンシップ等の実習先を決める際の大きな課題の一つが、「企業の名前や業務内容をよく知らず、何から始めればよいか分からない」という点です。こうした課題を解消し、学生と企業との出会いの機会を創出するため、「おかやまインターンシップ&オープン・カンパニーマッチングフェア 2025」を5月24日に杜の街グレース オフィススクエアで開催しました。



## Ⅱ. 実施内容

本イベントには 24 社が出展し、89 名の学生が参加しました。例年より約 1 か月早い開催となりましたが、学生は希望する企業ブースを積極的に訪問し、インターンシップ等の内容に加え、企業の取組や業界動向の説明、就職活動に向けたアドバイスなどに熱心に耳を傾けていました。

### (アドバンスってなんザンス？働きやすさのヒミツを探ろう！)

また、11 月 29 日には就職活動イベントとして、「アドバンスってなんザンス？働きやすさのヒミツを探ろう！」を開催しました。

岡山県が認定する、従業員の仕事と家庭の両立支援に特に積極的な「おかやま子育て応援宣言企業(アドバンス企業)」11 社が参加し、企業ブースでの説明会や若手社員との交流カフェを実施しました。

アドバンス企業の先進的な取組に触れることで、学生は「制度が実際にどのように運用されているか」を深く学ぶことができました。また、現場で働く若手社員との交流を通じ、インターンシップ先の選択肢として、また卒業後のキャリアパスやワークライフバランスについて、より具体的かつポジティブなイメージを持つ機会となりました。



<表 2> インターンシップ マッチングフェア実施状況

日程	イベント名	参加 学生数	参加 企業数
2025/5/24	おかやまインターンシップ&オープンカンパニーマッチングフェア 2025	89 名	24 社
2025/11/29	アドバンスってなんザンス？働きやすさのヒミツを探ろう！	27 名	11 社
	合計	116 名	35 社

### (個別大学でのインターンシップ・マッチングフェア)



今年度は、計 5 つの大学・短期大学において、学生と企業を繋ぐ「学内インターンシップ・マッチングフェア」を開催しました。延べ 81 社の企業にご参加いただき、397 名にのぼる学生が会場へ足を運びました。

学生にとって馴染みのあるキャンパス内で開催されたことにより、授業の合間などを縫って気軽に参加できる利点を活かし、多くの学

生が積極的に企業ブースを巡り、熱心に情報収集を行う姿が印象的でした。

また、学生にとっては、企業担当者と対面で接する数少ない機会でもあり、担当者と直接コミュニケーションができることにとっても満足度も高いものとなりました。



## Ⅱ. 実施内容

＜表 3＞ 個別大学インターンシップ マッチングフェア実施状況

日程	学校名	参加 学生数	参加 企業数
2025/7/9,16	岡山商科大学	71名	17社
2025/7/16	ノートルダム清心女子大学	81名	20社
2025/7/23	山陽学園大学	77名	10社
2025/11/10	吉備国際大学	43名	8社
2025/11/26	ノートルダム清心女子大学	51名	18社
2025/12/3	中国学園大学・中国短期大学	74名	8社
	合計	397名	81社

### 3) 学生向け事前研修会等(動画配信)

インターンシップ等に参加する前に学生に知っておいてほしい基礎的な知識や心構えを学ぶ機会を提供することを目的として、「インターンシップ参加前に必見！お役立ち動画」を期間限定で配信しました。

配信内容は、インターンシップ等参加前に知っておきたいマナーをイラストで解説する「インターンシップ参加前必見！ イラストで学ぶマナー講座」、グループディスカッションの基本的な流れや役割分担などを紹介する「グループディスカッション(GD)とは？ GD の流れがわかる」、就職活動中に抱えやすい不安や悩みへの対処法を解説する「就活中に抱えやすいお悩み解決方法 ストレスマネジメント」、岡山県内企業で働く若手社員へのインタビューを通して業界の特徴や就職活動のアドバイスを紹介する「実際に働いている先輩に聞いてみた！ 岡山業界研究」の4本で、のべ867回の視聴がありました。

これらの動画を通して、学生がインターンシップ等や、その先の就職活動に対する理解を深め、主体的に参加するための基礎知識を得る機会になったのではと思います。



＜表 4＞ 「インターンシップ参加前に必見！お役立ち動画」配信状況

配信期間	イベント名	再生回数
2025/7/1～7/31	①「インターンシップ参加前必見！ イラストで学ぶマナー講座」	247回
	②「グループディスカッション(GD)とは？ GD の流れがわかる」	179回
	③「就活中に抱えやすいお悩み解決方法 ストレスマネジメント」	193回
	④「実際に働いている先輩に聞いてみた！ 岡山業界研究」	248回
	合計	867回

## Ⅱ. 実施内容

### 4) 新インターンシップ活用セミナー

本セミナーは、令和4年に改正されたインターンシップ(就業体験を必須とし、実施期間が5日以上等の基準を満たしたタイプ3、タイプ4をさします)の理解を深め、インターンシップを自社の魅力、仕事のやりがい等を学生に伝える絶好の機会として捉え、効果的に活用推進する目的で開催しました。

講師に、株式会社 Steer ship の橋本高志氏を招聘し、グループワークを交えながら講演をしていただきました。



はじめに、改正インターンシップの定義と他のキャリア形成支援との違いを確認し、次に現状の実施プログラムの振り返りを行い、参加各社でグループに分かれて、インターンシップの取り組み事例を共有しました。プログラム内容、実施の時期、時間、自社の人員構成や実施の狙い、それに対する成果を共有し、参加者間で情報交換しました。それらを受けて、講師から、プログラム設計、母集団形成、当日の運営、実施後施策、社内理解について解説していただきました。



また、今回は県内大学生7名に参加いただき、参加企業とグループでの意見交換、そしてパネルディスカッションを行いました。参加企業にとって直接学生からの意見を聞くことができ、非常に満足度の高いものとなりました。

<表 5> 新インターンシップ活用セミナー実施状況

日程	イベント名	参加数、視聴数	形態
2026/1/30	新インターンシップ活用セミナー (会場)杜の街グレース オフィススクエア会議室 (講師) 株式会社 Steer ship 橋本高志 氏	35 社 43 名	対面
2026/2/6~2/20	新インターンシップ活用セミナー 一部後日配信	5 社 7 名	配信視聴

### Ⅲ. インターンシップ等受入学生数

#### ■岡山県内企業・団体にて実施した「インターンシップ等(※)」の受入学生数(企業・団体アンケートより)

【アンケート回答数:274企業・団体 (単位:人)】

年度	2025(令和7)年度	2024(令和6)年度	2023(令和5)年度
受入学生数	4,097	3,814	7,066

#### 【2025(令和7)年度インターンシップ等の傾向】

現在の新卒採用では、学生のキャリア形成やミスマッチ防止のため、インターンシップ等の重要性が高まっています。調査では76%の企業がインターンシップ等の実施または計画をしており、学生を受け入れる目的は社会貢献よりも「自社PR」や「採用につなげること」が中心となっています。また、プログラム内容は「実務体験」や「社員との交流」が多く、学生との理解を深める場として活用されている一方、「学生の集客」「社内スケジュール調整」「人員確保」などの運営負担に課題を抱えています。

学生側は、「実際の仕事を体験したい」という目的で参加する人が多く、参加後は企業理解が深まり志望度が上がる傾向があります。情報収集は就職サイトが中心ですが、学校も重要な窓口となっています。

しかし、学生は「5日以上長期実務体験」を求める傾向がある一方、企業は人員や時間の不足から「1日型」の実施が多く、双方のニーズに差があると見て取れます。

今後は、学校との連携強化などによる広報改善、オンライン活用や社内協力体制による運営効率化、実務体験や双方向のフィードバックを重視したプログラム設計、が重要であると考えます。企業の負担を減らしながら質の高いインターンシップ等を実施することが、地域雇用や産業活性化につながると考えられます。

## IV. 資料編

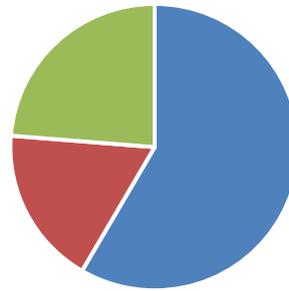
### 1) 企業・団体アンケート結果(回答社数274企業・団体)(単位:企業・団体数)

年度	2025(令和7)年度	2024(令和6)年度	2023(令和5)年度
アンケート回答数	274	235	255
うち 受入企業数	209	174	177

(2025年度の受入企業数には実施企業と実施予定も学生の応募がなかった企業も含めた企業数となります)

#### 質問1: インターンシップ等実施状況について n=274

①実施した	160	58.4%
②実施予定も応募なし	49	17.9%
③実施していない	65	23.7%



- ①実施した
- ②実施していない (学生から応募がなかった)
- ③実施していない (もともと実施予定がなかった)

#### 質問2: インターンシップ等受け入れの狙い・理由について (複数回答) n=209

①学生の職業意識・能力を高めるため(社会貢献として実施)	97	46.4%	
②学校や学生に対して自社のPRとなるため	184	88.0%	
③学校や学生との交流経験が採用活動のプラスになるため	167	79.9%	
④求める人材像や教育に対する要望を学校に伝えることができるため	42	20.1%	
⑤職場の活性化につながるため	47	22.5%	
⑥その他	4	1.9%	

※対回答者数比を記載

#### 質問3: インターンシップ等のプログラム内容をお答えください (複数回答) n=209

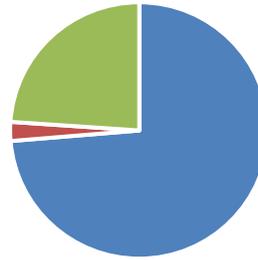
①通常業務の実務体験	143	68.4%	
②職場(工場)見学	138	66.0%	
③講義・座学形式	110	52.6%	
④社員との座談会	143	68.4%	
⑤グループワーク(課題解決、企画立案)	61	29.2%	
⑥その他	5	2.4%	

※対回答者数比を記載

## IV. 資料編

質問4: インターンシップ等の実施形式を教えてください n=209

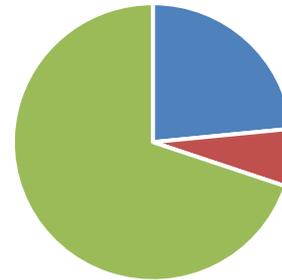
①対面	154	73.7%
②オンライン	5	2.4%
③両方	50	23.9%



- ①対面
- ②オンライン
- ③両方

質問5: 有償インターンシップ等についてお答えください n=209

①実施した	49	23.4%
②今後、実施を検討している	14	6.7%
③実施していない	146	69.9%



- ①実施した
- ②今後、実施を検討している
- ③実施していない

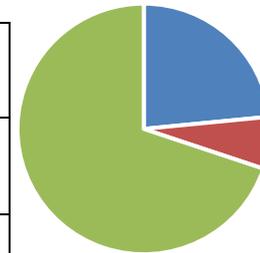
質問6: 質問5で①と回答した方に有償の内容を教えてください(複数回答) n=49

①給料	10	20.4%	
②交通費	46	93.9%	
③食費	30	61.2%	
④宿泊費	14	28.6%	
その他	3	6.1%	

※対回答者数比を記載

質問7: 長期インターンシップ(1か月以上)についてお答えください n=209

①実施した	20	9.6%
②今後、実施を検討	15	7.2%
③実施していない	174	83.3%



- ①実施した
- ②今後、実施を検討している
- ③実施していない

(長期インターンシップを実施していない理由)

実施が困難な最大の理由は、指導にあたる社員のリソース不足と現場への過度な負担にあります。採用成果が不透明な中で多大な工数を割くメリットが見出しにくい上、長期間提供できる教育プログラムや運営ノウハウが不足していることも大きな障壁となっています。また、業種特有の守秘義務や安全確保、専門資格の壁によって実務体験の範囲が制限されるほか、双方の需要と供給のミスマッチが生じているように思われます。

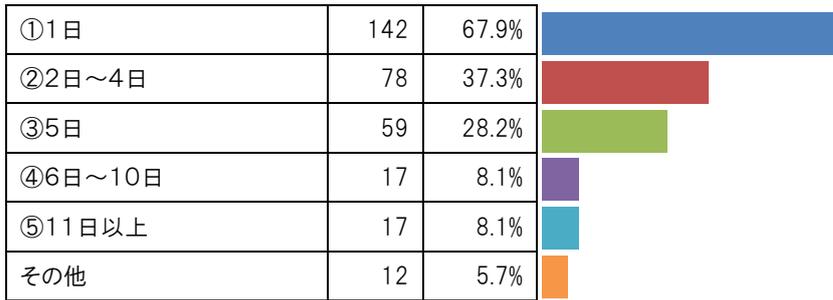
質問8: インターンシップ等の実施時期をお答えください(複数回答可) n=209

①夏季(6月～9月)	117	56.0%	
②冬季(12月～2月)	89	42.6%	
③通年	75	35.9%	
その他	16	7.7%	

※対回答者数比を記載

## IV. 資料編

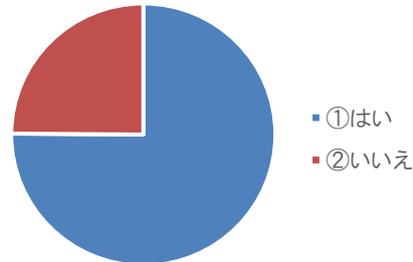
質問9: インターンシップ等の実施日数をお答えください(複数回答可) n=209



※対回答者数比を記載

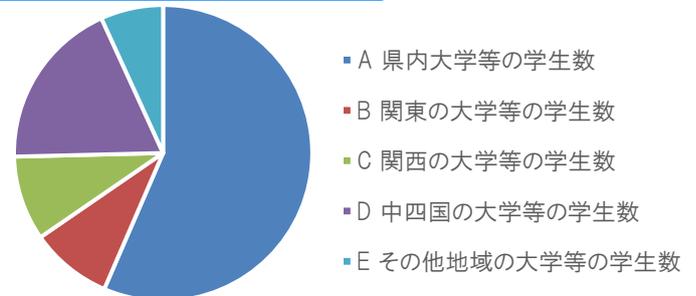
質問10: 今年度、学生を受入れましたか n=209

①受け入れた	157	75.1%
②受け入れていない	52	24.9%

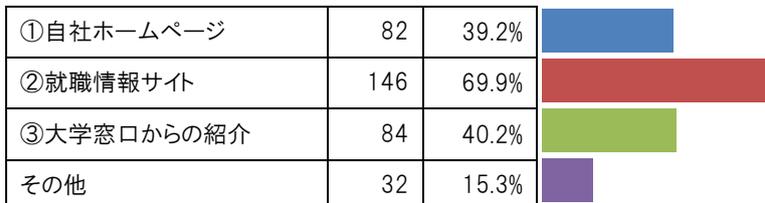


質問11: インターンシップ等の受け入れ人数をお答えください n=4,097

A 県内大学等	2,313	56.5%
B 関東の大学等	365	8.9%
C 関西の大学等	379	9.2%
D 中四国の大学等	762	18.6%
E その他地域の大学等	278	6.8%



質問12: インターンシップ等の学生の募集方法をお答えください(複数回答可) n=209

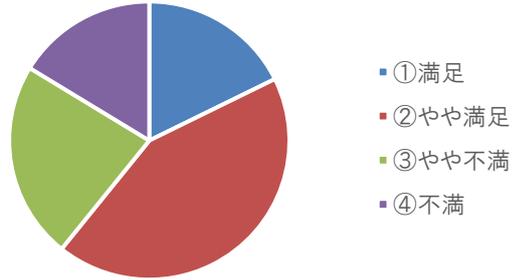


※対回答者数比を記載

## IV. 資料編

質問13: 今年度のインターンシップ等の満足度を教えてください n=209

①満足	37	17.7%
②やや満足	90	43.0%
③やや不満	48	23.0%
④不満	34	16.3%



(満足度の評価の理由について)

「満足」「やや満足」と回答した企業では、学生の適性把握による採用ミスマッチの防止や優秀な人材の早期確保といった直接的な成果に加え、指導を通じた現場社員の教育能力向上や組織の活性化といった副次的なメリットを高く評価しています。一方で、「不満」「やや不満」と回答した企業では、多大な工数を割いたにもかかわらず最終的な採用エントリーに繋がらないことへの徒労感が強く、現場負担と成果の乖離が主な要因となっています。また、学生の意欲と自社ニーズのミスマッチにより、本来の業務を圧迫したコストに見合うメリットが得られなかった際に評価が低くなる傾向が見取れます。

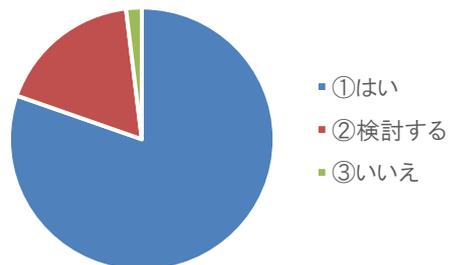
質問14: インターンシップ等を実施する上での課題をお答えください(複数回答可) n=209

①社内スケジュール、時間の調整	131	62.7%	
②人員の確保	127	60.8%	
③プログラムの企画	116	55.5%	
④学生の集客(告知・PR 方法)	134	64.1%	
⑤実施後のアフターフォロー	80	38.3%	
その他	7	3.3%	

※対回答者数比を記載

質問15: 来年度もインターンシップ等の受け入れをしますか n=209

①はい	168	80.4%
②検討する	37	17.7%
③いいえ	4	1.9%

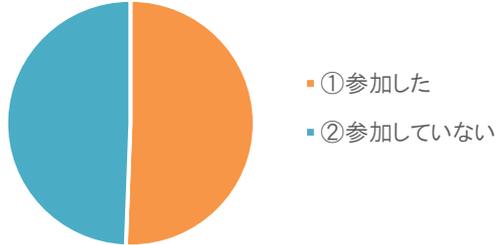


## IV. 資料編

### 2) 学生アンケート結果(回答者数85人)

質問1: 本年度のインターンシップ等の参加状況をお答えください n=85

①参加した	43	50.6%
②参加していない	42	49.4%



質問2: インターンシップに参加した動機を教えてください(複数回答可) n=43

①会社で働くということを体験したい	14	32.6%	
②希望する仕事の実務を体験したい	26	60.5%	
③学校で学んだことを実際の職場で生かしてみたい	6	14.0%	
④自分の適性を把握したい	17	39.5%	
⑤就職活動の準備として	25	58.1%	
⑥単位を取得するため	8	18.6%	
⑦教職員、先輩、友人に勧められたため	2	4.7%	
その他	4	9.3%	

※対回答者数比を記載

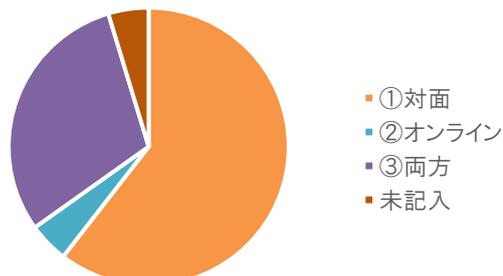
質問3: インターンシップ等の情報収集手段をお答えください。(複数回答可) n=43

①就職情報サイト	30	69.8%	
②企業のホームページ	14	32.6%	
③企業情報サイト「きら☆おか」	1	2.3%	
④SNS(Instagram、X、YouTube等)	3	7.0%	
⑤学校(教員、キャリアセンター等)	21	48.8%	
⑥学内の説明会・ガイダンス	11	25.6%	
⑦インターンシップ等の関連イベント	5	11.6%	
⑧紹介・口コミ	1	2.3%	
その他	1	2.3%	

※対回答者数比を記載

質問4: インターンシップ等の参加形態をお答えください n=43

①対面	26	60.4%
②オンライン	2	4.7%
③両方	13	30.2%
未記入	2	4.7%



## IV. 資料編

質問5: インターンシップ等の参加時期をお答えください(複数回答可) n=43

①夏季(6月～9月)	24	55.8%	
②冬季(12月～2月)	28	65.1%	
その他	3	7.0%	

※対回答者数比を記載

質問6: インターンシップ等の参加日数をお答えください(複数回答可) n=43

①1日	24	55.8%	
②2日～4日	11	25.6%	
③5日	12	27.9%	
④6日～10日	10	23.3%	
⑤11日以上	3	7.0%	
その他	0	0.0%	

※対回答者数比を記載

質問7: 企業選定で重視したことをお答えください(複数回答可) n=43

①プログラムの内容	16	37.2%	
②就職を希望する業界、企業であること	31	72.1%	
③企業の知名度や規模の大きさ	6	14.0%	
④周囲の評判がよいこと	8	18.6%	
⑤報酬や交通費が支払われること	4	9.3%	
⑥採用に直結すること	9	20.9%	
⑦他の学生と交流できること	3	7.0%	
⑧学業・部活等に支障がないこと	9	20.9%	
⑨参加しやすい実習地(利便性)	16	37.2%	
⑩受入期間(短い又は長い)	1	2.3%	
⑪特になし	0	0.0%	
その他	1	2.3%	

※対回答者数比を記載

## IV. 資料編

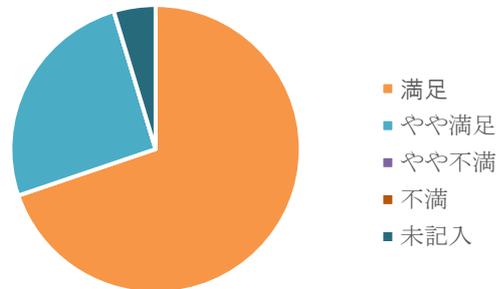
質問8：参加した主なプログラム内容をお答えください（複数回答可） n=43

①通常業務の実務体験	26	60.5%	
②職場(工場)見学	21	48.8%	
③講義・座学形式	16	37.2%	
④社員との座談会	26	60.5%	
⑤グループワーク(課題解決、企画立案など)	25	58.1%	
その他	2	4.7%	

※対回答者数比を記載

質問9：参加したインターンシップ等の満足度をお答えください n=43

満足	30	69.8%
やや満足	11	25.6%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	2	4.6%



（満足度の評価の理由について）

学生が満足した主な要因は、第一に「実務に即した深い体験」が得られたことです。実際の業務に触れることで、仕事に対する理解が深まるとともに、自身の適性を具体的に確認できたことが高い評価に繋がりました。第二に、社員との交流を通じて「社風や現場の雰囲気」を肌で感じ、入社後のイメージを具体化できた点が挙げられます。さらに、指導社員からの丁寧なフィードバックが自己成長の実感をもたらし、企業への信頼感と志望度を大きく引き上げる要因となりました。

質問10：インターンシップ等参加後の意識についてお答えください（複数回答可） n=43

①企業や仕事、業界についての理解が進んだ	38	88.4%	
②参加企業への志望度が上がった	21	48.8%	
③働くことについて認識が変わった	13	30.2%	
④早く就職したいという気持ちになった	6	14.0%	
⑤自分の適性や能力がある程度わかった	19	44.2%	
⑥今まで関心の薄かった職種に興味を持った	7	16.3%	
⑦特になし	0	0.0%	
その他	1	2.3%	

※対回答者数比を記載

## IV. 資料編

質問11: インターンシップ等に参加する上での課題についてお答えください (複数回答可) n=43

①企業選定 (どこに参加したらいいかわからない)	20	46.5%	
②情報が多すぎて整理できない	17	39.5%	
③エントリーシートの作成(書き方等)	18	41.9%	
④交通の便	12	27.9%	
⑤学業、部活、アルバイト等との調整	18	41.9%	
⑥特になし	3	7.0%	
その他	0	0.0%	

※対回答者数比を記載

## IV. 資料編

### 3) インターンシップ実態調査アンケート回答企業・団体一覧

	事業所名	業種	所在地
1	IME株式会社	製造	岡山市
2	アイサワ工業株式会社	製造	岡山市
3	アサゴエ工業株式会社	製造	岡山市
4	エヌイーシール株式会社	製造	岡山市
5	エフピコアルライト株式会社	製造	岡山市
6	エムテック株式会社	製造	岡山市
7	オーエム機器株式会社	製造	岡山市
8	カジノン株式会社	製造	岡山市
9	サンワサプライ株式会社	製造	岡山市
10	セキスイハイム中四国株式会社	製造	岡山市
11	ナガオ株式会社	製造	岡山市
12	ナカシマプロペラ株式会社	製造	岡山市
13	ナカシマヘルスフォース株式会社	製造	岡山市
14	マイクロクラフト株式会社	製造	岡山市
15	ミサワホーム中国株式会社	製造	岡山市
16	ユアサ工機株式会社	製造	岡山市
17	ライフデザイン・カバヤ株式会社	製造	岡山市
18	栄光テクノ株式会社	製造	岡山市
19	岡山大鵬薬品株式会社	製造	岡山市
20	角南被服有限会社	製造	岡山市
21	株式会社イノテック	製造	岡山市
22	株式会社ウイル	製造	岡山市
23	株式会社クレスコ	製造	岡山市
24	株式会社コウサイ	製造	岡山市
25	株式会社コーセイカン	製造	岡山市
26	株式会社サンナン	製造	岡山市
27	株式会社サンベルコ	製造	岡山市
28	株式会社ティ・シー・シー	製造	岡山市
29	株式会社デンショク	製造	岡山市
30	株式会社ワールドインテック 岡山営業所	製造	岡山市
31	株式会社岡文館印刷所	製造	岡山市
32	株式会社岸本工業所	製造	岡山市
33	株式会社岩井工業所	製造	岡山市
34	株式会社源吉兆庵	製造	岡山市
35	株式会社荒木組	製造	岡山市
36	株式会社三協クリエト	製造	岡山市
37	株式会社山本金属製作所 岡山研究開発センター	製造	岡山市
38	株式会社山陽断熱	製造	岡山市
39	株式会社小坂田建設	製造	岡山市
40	株式会社誠実興業	製造	岡山市
41	株式会社大和鉄工所	製造	岡山市
42	株式会社藤岡エンジニアリング	製造	岡山市

## IV. 資料編

	事業所名	業種	所在地
43	株式会社備福通信	製造	岡山市
44	株式会社廣榮堂	製造	岡山市
45	岩水開発株式会社	製造	岡山市
46	協和ファインテック株式会社	製造	岡山市
47	橋本義肢製作株式会社	製造	岡山市
48	広成建設株式会社(JR西日本グループ)	製造	岡山市
49	高雄工業株式会社	製造	岡山市
50	新保電機工業株式会社	製造	岡山市
51	大紀産業株式会社	製造	岡山市
52	大和クレス株式会社	製造	岡山市
53	朝日管工株式会社	製造	岡山市
54	内山工業株式会社	製造	岡山市
55	友野印刷株式会社	製造	岡山市
56	有限会社頼鉄工所	製造	岡山市
57	有限会社廣安瓦建材	製造	岡山市
58	KBKエンジニアリング株式会社	製造	倉敷市
59	エムイーシーテクノ株式会社	製造	倉敷市
60	カモ井加工紙株式会社	製造	倉敷市
61	タケシンパッケージ株式会社	製造	倉敷市
62	株式会社アキオカ	製造	倉敷市
63	株式会社ナイカイアーキット	製造	倉敷市
64	株式会社ヤマダ	製造	倉敷市
65	株式会社岡山木村屋	製造	倉敷市
66	株式会社児島技研	製造	倉敷市
67	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	製造	倉敷市
68	丸五ゴム工業株式会社	製造	倉敷市
69	山口技商株式会社	製造	倉敷市
70	山崎プラント株式会社 水島営業所	製造	倉敷市
71	倉敷製帽株式会社	製造	倉敷市
72	倉敷繊維加工株式会社	製造	倉敷市
73	大原工業株式会社	製造	倉敷市
74	中央建設株式会社	製造	倉敷市
75	萩原工業株式会社	製造	倉敷市
76	武田鑄造株式会社	製造	倉敷市
77	目黒建設株式会社	製造	倉敷市
78	IKOMAロボテック株式会社	製造	津山市
79	院庄林業株式会社	製造	津山市
80	株式会社トーカロIMTG	製造	津山市
81	株式会社ニーズホーム	製造	津山市
82	株式会社勝山組	製造	津山市
83	共和機械株式会社	製造	津山市
84	仁木鉄工株式会社(仁木ホールディングス株式会社)	製造	津山市
85	成好設備工業株式会社	製造	津山市

## IV. 資料編

	事業所名	業種	所在地
86	大進建設株式会社	製造	津山市
87	株式会社ドウワン・ソーイング 岡山工場	製造	玉野市
88	玉野土建株式会社	製造	玉野市
89	三井造船特機エンジニアリング株式会社	製造	玉野市
90	シービー化成株式会社	製造	笠岡市
91	フェニテックセミコンダクター株式会社	製造	笠岡市
92	福山鑄造株式会社	製造	笠岡市
93	タカヤ株式会社	製造	井原市
94	タツモ株式会社	製造	井原市
95	井原精機株式会社	製造	井原市
96	株式会社化繊ノズル製作所	製造	井原市
97	株式会社アステア	製造	総社市
98	株式会社サンデリカ 岡山事業所	製造	総社市
99	株式会社ナラムラ	製造	総社市
100	三乗工業株式会社	製造	総社市
101	新興工業株式会社	製造	総社市
102	有限会社小見山木工	製造	総社市
103	有限会社小川製作所	製造	総社市
104	中村建設株式会社	製造	高梁市
105	三共精粉株式会社	製造	新見市
106	株式会社岡山村田製作所	製造	瀬戸内市
107	利守酒造株式会社	製造	赤磐市
108	株式会社デンソー勝山	製造	真庭市
109	株式会社安田工業所	製造	真庭市
110	銘建工業株式会社	製造	真庭市
111	有限会社木浦工業所	製造	真庭市
112	株式会社モリナリー	製造	美作市
113	株式会社横山基礎工事 岡山工場	製造	美作市
114	株式会社サンラヴィアン	製造	浅口市
115	株式会社スズキ麺工	製造	浅口市
116	谷尾食糧工業株式会社	製造	和気町
117	エスタカヤ電子工業株式会社	製造	里庄町
118	三陽機器株式会社	製造	里庄町
119	渡辺化成株式会社	製造	里庄町
120	富士ベークライト株式会社	製造	矢掛町
121	株式会社山田養蜂場	製造	鏡野町
122	株式会社コニック 岡山工場	製造	勝央町
123	株式会社エコプランニング	製造	奈義町
124	森安建設株式会社	製造	奈義町
125	カイトックグループ	販売(卸売・小売)	岡山市
126	コムパス株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
127	スズキ岡山販売株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
128	トヨタL&F岡山株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市

## IV. 資料編

	事業所名	業種	所在地
129	トヨタカローラ岡山株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
130	トヨタモビリティパーツ株式会社 岡山・鳥取支社	販売(卸売・小売)	岡山市
131	ネットヨタ岡山株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
132	ネットヨタ山陽株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
133	はるやま商事株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
134	ホシザキ中国株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
135	ライト電業株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
136	リコージャパン株式会社 岡山支社	販売(卸売・小売)	岡山市
137	岡山ダイハツ販売株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
138	岡山トヨタ自動車株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
139	岡山トヨペット株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
140	岡山中央魚市株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
141	岡山日産自動車株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
142	株式会社WORK SMILE LABO	販売(卸売・小売)	岡山市
143	株式会社ウッディオネダ	販売(卸売・小売)	岡山市
144	株式会社エプリーホームイホールディングス	販売(卸売・小売)	岡山市
145	株式会社カワニシ	販売(卸売・小売)	岡山市
146	株式会社タイム	販売(卸売・小売)	岡山市
147	株式会社マティクスリテールサービス	販売(卸売・小売)	岡山市
148	株式会社わたなべ生鮮館	販売(卸売・小売)	岡山市
149	株式会社岡山マツダ	販売(卸売・小売)	岡山市
150	株式会社岡山県水	販売(卸売・小売)	岡山市
151	株式会社協同	販売(卸売・小売)	岡山市
152	株式会社山陽メディアサプライズ	販売(卸売・小売)	岡山市
153	株式会社泰平商会	販売(卸売・小売)	岡山市
154	株式会社中四国クボタ	販売(卸売・小売)	岡山市
155	株式会社天満屋	販売(卸売・小売)	岡山市
156	株式会社日産サティオ岡山	販売(卸売・小売)	岡山市
157	興和商事株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
158	三和A&M株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
159	西日本メディカルリンク株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
160	西野産業株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
161	日東物産株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
162	服部興業株式会社	販売(卸売・小売)	岡山市
163	クラブン株式会社	販売(卸売・小売)	倉敷市
164	ヤンマーアグリジャパン株式会社 中四国支社	販売(卸売・小売)	倉敷市
165	株式会社アップル情報通信サービス(岡山営業所)	販売(卸売・小売)	倉敷市
166	株式会社キャリオン	販売(卸売・小売)	倉敷市
167	株式会社シマダオール	販売(卸売・小売)	倉敷市
168	株式会社ダブルツリー	販売(卸売・小売)	倉敷市
169	株式会社仁科百貨店	販売(卸売・小売)	倉敷市
170	株式会社北原産業	販売(卸売・小売)	倉敷市
171	吉岡株式会社	販売(卸売・小売)	倉敷市

## IV. 資料編

	事業所名	業種	所在地
172	倉敷青果株式会社(クラカグループ)	販売(卸売・小売)	倉敷市
173	藤徳物産株式会社	販売(卸売・小売)	倉敷市
174	株式会社ホンダカーズ津山	販売(卸売・小売)	津山市
175	山一水産株式会社	販売(卸売・小売)	津山市
176	有限会社三協鋳螺	販売(卸売・小売)	玉野市
177	株式会社プレひまわり	販売(卸売・小売)	総社市
178	おかやま信用金庫	金融・証券・保険	岡山市
179	岡山県信用保証協会	金融・証券・保険	岡山市
180	損害保険ジャパン株式会社 岡山支店	金融・証券・保険	岡山市
181	株式会社坂口損保	金融・証券・保険	倉敷市
182	水島信用金庫	金融・証券・保険	倉敷市
183	大山日ノ丸証券株式会社	金融・証券・保険	倉敷市
184	津山信用金庫	金融・証券・保険	津山市
185	笠岡信用組合	金融・証券・保険	笠岡市
186	吉備信用金庫	金融・証券・保険	総社市
187	備北信用金庫	金融・証券・保険	高梁市
188	備前日生信用金庫	金融・証券・保険	備前市
189	OEC株式会社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
190	P・O・Pホールディングス株式会社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
191	アイピーシステム株式会社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
192	エクシードシステム株式会社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
193	セリオ株式会社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
194	岡山ネットワーク株式会社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
195	株式会社KG情報	情報(IT・マスコミ)	岡山市
196	株式会社NKC	情報(IT・マスコミ)	岡山市
197	株式会社アイアットOEC	情報(IT・マスコミ)	岡山市
198	株式会社アストロ	情報(IT・マスコミ)	岡山市
199	株式会社ジェイテック	情報(IT・マスコミ)	岡山市
200	株式会社システムエンタープライズ	情報(IT・マスコミ)	岡山市
201	株式会社ハーバー・ソフトウェア	情報(IT・マスコミ)	岡山市
202	株式会社ハイテックシステムズ	情報(IT・マスコミ)	岡山市
203	株式会社ハジメクリエイト	情報(IT・マスコミ)	岡山市
204	株式会社リゾーム	情報(IT・マスコミ)	岡山市
205	株式会社岡山システムサービス	情報(IT・マスコミ)	岡山市
206	株式会社岡山トヨタシステムサービス	情報(IT・マスコミ)	岡山市
207	株式会社岡山トレジャーシステム	情報(IT・マスコミ)	岡山市
208	株式会社山陽メディアネット	情報(IT・マスコミ)	岡山市
209	株式会社山陽新聞社	情報(IT・マスコミ)	岡山市
210	有限会社ミ・ワークス	情報(IT・マスコミ)	岡山市
211	有限会社アクシス	情報(IT・マスコミ)	倉敷市
212	株式会社ワードシステム	情報(IT・マスコミ)	津山市
213	株式会社NICS	情報(IT・マスコミ)	玉野市
214	アセス株式会社	サービス	岡山市

## IV. 資料編

	事業所名	業種	所在地
215	エース設計産業株式会社	サービス	岡山市
216	エームサービス株式会社	サービス	岡山市
217	キングラン中四国株式会社	サービス	岡山市
218	すずらん歯科クリニック	サービス	岡山市
219	つばめガス株式会社	サービス	岡山市
220	医療法人社団良友会	サービス	岡山市
221	岡山ガス株式会社	サービス	岡山市
222	岡山医療生活協同組合	サービス	岡山市
223	岡山県貨物運送株式会社	サービス	岡山市
224	岡山土地倉庫株式会社	サービス	岡山市
225	株式会社アルファ	サービス	岡山市
226	株式会社エイジェック	サービス	岡山市
227	株式会社サンキョウエンビックス	サービス	岡山市
228	株式会社シーエックスアール	サービス	岡山市
229	株式会社シーズ	サービス	岡山市
230	株式会社ティーエス自動車	サービス	岡山市
231	株式会社トムコ	サービス	岡山市
232	株式会社トヨタレンタリース岡山	サービス	岡山市
233	株式会社トヨタレンタリース新岡山	サービス	岡山市
234	株式会社メフォス	サービス	岡山市
235	株式会社メルシ	サービス	岡山市
236	ANAクラウンプラザホテル岡山(株式会社レイ)	サービス	岡山市
237	株式会社阿波設計事務所 岡山支店	サービス	岡山市
238	株式会社建美	サービス	岡山市
239	株式会社山陽セフティ	サービス	岡山市
240	株式会社成通・ソフトシステムズ	サービス	岡山市
241	株式会社西日本アチューマツクリーン	サービス	岡山市
242	株式会社総合技術サービス	サービス	岡山市
243	社会福祉法人操陽会白菊保育園	サービス	岡山市
244	西部技術コンサルタント株式会社	サービス	岡山市
245	浅野産業株式会社	サービス	岡山市
246	日進測量株式会社	サービス	岡山市
247	日本インフラマネジメント株式会社	サービス	岡山市
248	両備ホールディングス株式会社	サービス	岡山市
249	株式会社ENGI	サービス	倉敷市
250	株式会社いのうえ【エヴァホール／葬祭】	サービス	倉敷市
251	株式会社なんば技研	サービス	倉敷市
252	株式会社安藤嘉助商店	サービス	倉敷市
253	株式会社環境科学設計	サービス	倉敷市
254	株式会社創心會	サービス	倉敷市
255	社会福祉法人P.P.P.	サービス	倉敷市
256	社会福祉法人ますみ会	サービス	倉敷市
257	倉敷ステーションホテル株式会社	サービス	倉敷市

## IV. 資料編

	事業所名	業種	所在地
258	中谷興運株式会社【中谷グループ】	サービス	倉敷市
259	都ユニリース株式会社	サービス	倉敷市
260	日本非破壊検査株式会社 水島事業所	サービス	倉敷市
261	株式会社アークコンサルタント	サービス	津山市
262	鶴山運送株式会社	サービス	津山市
263	株式会社アール・ケア	サービス	玉野市
264	ヤマシン技研株式会社	サービス	笠岡市
265	株式会社アクア美保	サービス	笠岡市
266	株式会社生興運送	サービス	井原市
267	社会福祉法人超寿会	サービス	総社市
268	総社花萬株式会社	サービス	総社市
269	社会福祉法人日翔会	サービス	新見市
270	東亜電工株式会社	サービス	新見市
271	医療法人八紘会	サービス	浅口市
272	SMART DRIVER SCHOOL 勝英	サービス	勝央町
273	公益財団法人岡山県環境保全事業団	官公庁・公社・団体	岡山市
274	岡山市農業協同組合【JA岡山】	官公庁・公社・団体	岡山市

### ■業種別の県内企業・団体数

業種	件数
製造	124
販売(卸売・小売)	53
金融・証券・保険	11
情報(IT・マスコミ)	25
サービス	59
官公庁・公社・団体	2
合計	274



※業種については、「きら☆おか」の登録業種により集計いたしました。

インターンシップ実態調査アンケートにご回答いただいた企業・団体の皆さま、ご協力ありがとうございました。

令和7(2025)年度  
インターンシップ等  
実施報告書  
Implementation Report

令和7年度 岡山県人材還流・定着プロジェクト事業  
(インターンシップマッチング強化事業)  
(岡山県委託事業)

協力：大学コンソーシアム岡山  
委託先：岡山県中小企業団体中央会

発行日 令和8年3月  
発行所 岡山県中小企業団体中央会  
岡山県岡山市北区弓之町4番19-202号

